

片山潜 おとよま せん 社会主義運動家。安政六年十一月七日美作生れ、昭和八年十一月五日（八五九—一九三三）。舊姓敷木、字深甫、幼名菅人郎。號一鳥。明治十七年アメリカに渡り苦學。一十九年歸國し、翌年高野房太郎等の労働組合期成會に参加、機関誌『労働世界』主筆となる。社会主義研究會、社会主義協會を経て、二十四年社会民主黨を組織。二十七年萬國社会黨大會日本代表。のち共產主義に傾き、大正十二年ニシニテレン執行委員會幹部。モスクワで客死。『片山潜著作集』全二卷（昭和二十四年—二十五年河出書房新社）刊。

著書『英國今日之社会』（明治二十年二月—二十五年警醒社書店）、『英和商用文範』（明治二十年十一月—六月山本録藏刊、岡崎屋教育、葉多野大文齋刊、清水書店教育）、『台傳』（大正十一年五月十八日改造社、再刊。昭和八年十一月八日「改造文庫」、日本共產黨黨史資料委員會監修。二十四年十月二十一日眞理社、二十九年二月十日岩波書店）、『片山潜論文集』（「イン」タナシヨナル）編輯部編、昭和五年五月—二十二年戦旗社）、『日本の労働運動』（昭和二十七年二月五日岩波書店「岩波文庫」）、『片山潜・田添鐵』二集』（岸本英太郎編、昭和二十年十月一日青木書店「青木文庫・資料日本社会運動思想史明治後期」、遺稿『革命的社會主義への道』（岡田宗司編、昭和四十五年九月—五五年刀江書院）等。



文献『片山潜』全二册（第一部—岸本英太郎著・昭和二十四年十一月二十日、第二部—渡辺春男、小山弘健著・二十五年八月—五日未來社）、隅谷三喜男著『片山潜』（昭和五十二年六月十日東京大学出版会「UP選書」）等。